



町長エッセイ



今年の夏ほど「暑い」と強く感じた年は無かったように思います。それは、熊谷で41度を超えたところに最高潮となりました。

その後に控えていたのが、小川町最大イベントの七夕まつりです。「こんなに晴れが続いて七夕が雨ではこまるね」とあちらこちらから聞こえてきましたが、台風の襲来までは予測できませんでした。

しかも今年は70回記念の七夕まつりです。役場のフロアには各地区の皆さんの協力によるくす玉が早くから飾られ、図書館では7月28日、29日の本番に先行して、

24日から「和紙の町がつないだ七夕展」が開かれました。会場には戦後間もない昭和24（1948）年の始まりから70年間の歩みと話題、ポスターの変遷、いまは懐かしい「こより」で仕上げたキャラクター「星夢（すたむ）ちゃん」の大型絵、回廊は夜の七夕が演出されていました。

台風12号による影響で、初日の28日は中止となりましたが、29日は台風が通過し、竹飾りは予定どおり実施しました。午後からは県警音楽隊のパレードが2年振りに行進し、伝統の小川七夕踊りも華やかに行われ、夜には仙元山から花火が打ち上げられ、暑さにもめげず夜空を賑わしました。 **松本恒夫**